



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社フーバーブレイン 上場取引所 東  
コード番号 3927 URL <https://www.fuva-brain.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 輿水 英行  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 植村 浩之 TEL 03-5210-3061  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	956	28.8	38	261.0	12	248.5	9	△26.9	△3	-
2024年3月期第1四半期	742	32.5	10	△66.7	3	△86.3	12	△21.2	3	△52.1

(注) 1. 包括利益 2025年3月期第1四半期 2百万円 (△64.5%) 2024年3月期第1四半期 6百万円 (△40.1%)

2. 調整後営業利益=営業利益+M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用+株式報酬費用+その他一時的費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△0.61	-
2024年3月期第1四半期	0.65	0.65

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,494	1,385	29.8
2024年3月期	4,352	1,375	30.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,337百万円 2024年3月期 1,328百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,800	23.6	150	197.4
	～ 4,100	～ 33.3	～ 250	～ 395.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社クワッドマイナージャパン

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (持分法適用の範囲の変更の注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	5,602,200株	2024年3月期	5,600,200株
2025年3月期1Q	382,507株	2024年3月期	396,262株
2025年3月期1Q	5,215,303株	2024年3月期1Q	5,305,343株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2025年3月期の連結業績予想について)

当社グループが属する業界及び今般の外部環境の変化の速さ並びに当社の展開するグループ戦略を勘案し、レンジ形式にて通期売上高及び調整後営業利益の連結業績予想値を開示しております。経常利益以下の各利益については、当社グループの事業構成の多様化も踏まえた機動的な事業展開を実施する観点から、今後の営業外収益または費用等の適正かつ合理的な数値の見積もりは困難であるため、算出しておりません。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(持分法適用の範囲の変更の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）は、2026年3月期に調整後連結営業利益5億円達成を業績目標（以下、「本業績目標」という。）に掲げ、積極的・戦略的なM&Aを実行し、ワンストップですべてのセキュリティソリューションを提供できる「セキュリティソリューションプラットフォーム」を有する、「ITエンジニア集団」を構築することを事業方針とし、「ITツール事業」及び「ITサービス事業」を展開しております。

当第1四半期連結累計期間において、「ITツール事業」では、2024年1月より販売を開始した「Eye “247” Safety Zone」シリーズを中心に、基盤事業の一つであるサイバーセキュリティ製品群の販売実績は概ね計画どおりに進捗いたしました。

同事業の成長事業であるセキュリティ&ネットワークaaS製品「Cato SASE Cloud」では、販売パートナーとともに、順調に受注実績を積み重ねており、前年同期比80.7%増と成長を続けております。2023年12月に共同設立した株式会社フーバー・クロステクノロジーによるサイバーセキュリティサービスの提供に加え、より付加価値の高い提案を行い、さらなる受注拡大に取り組んでおります。

また、2024年1月に国内総代理店として取り扱いを開始したNDR(Network Detection and Response)ソリューション製品「Network Blackbox」では、提供元である株式会社クラウドマイナーージャパン（以下、「クラウドマイナーージャパン」という。）に対する出資を同年4月15日付で実施し、持分法適用会社として当社グループに向け、「Network Blackbox」の販売活動を本格化させております。「Cato SASE Cloud」同様、当社グループの新たな成長事業となるよう、クラウドマイナーージャパンと共に取り組んでまいります。

「ITツール事業」2つ目の成長事業である働き方改革製品「Eye “247” Work Smart Cloud」については、デジタルマーケティングによる直接販売が概ね想定どおりに推移し、着実に売上高を積み上げております。「ヒトセキュリティ」コンセプトの新たな機能追加に着手し、付加価値向上による継続率向上及び導入企業増加に取り組んでまいります。生産性向上や働き方改革支援と並行して、内部不正対策切り口のアプローチにより、大企業からの問い合わせも増加しております。

「ITサービス事業」においては、GHインテグレーション株式会社（以下、「GHI」という。）及び2024年2月に子会社化した株式会社CONVICTION（以下、「CONVICTION」という。）が抱えるIT人材への需要は依然と高く、計画どおりの進捗となっております。GHIにおいては、共同株主である伊藤忠テクノソリューションズ株式会社とも協力して、IT人材の需要が継続して高い、開発案件やネットワークインフラ、データセンター関連プロジェクト等のさらなる案件獲得に取り組んでおります。CONVICTIONにおいても、グループ会社のネットワークを介した案件獲得に取り組んでおります。

採用支援・人材紹介を提供する連結子会社株式会社アド・トップ（以下、「アド・トップ」という。）においては、前連結会計年度における黒字体質への転換をそのままに、当第1四半期連結累計期間においても、利益貢献を実現しております。今後は、アド・トップの既存クライアント企業へ当社働き方改革製品及び「FB SAT」シリーズの提供などグループ間での営業機会を創出し、さらなる売上高拡大に取り組んでまいります。

「ITツール事業」及び「ITサービス事業」のほか、2023年7月に設立した投資専門子会社フーバー・インベストメント株式会社（以下、「フーバー・インベストメント」という。）による投資事業では、2024年4月15日付で、NDRソリューション製品「Network Blackbox」の開発元であり、クラウドマイナーージャパンの親会社であるQuad Miners Co., Ltd.（クラウドマイナー）に出資いたしました。Quad Miners Co., Ltd.は、韓国での株式上場を計画しており、今後のさらなる企業価値向上が期待され、それに伴うキャピタルゲインを見込んでおります。フーバー・インベストメントは今後も、当社グループ成長に貢献しうる企業の調査・検討に加え、企業価値向上によるキャピタルゲインの獲得が見込める企業への純投資を積極的に行ってまいります。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は956,575千円（前年同期比28.8%増）となりました。売上構成の変化による粗利率の低下はあるものの、販売費及び一般管理費の適正化に取り組み、営業利益は12,767千円（前年同期比248.5%増）となりました。経常損益については、外貨建債権債務等に係る為替差益3,018千円を計上する一方、持分法による投資損失7,010千円を計上したことで、経常利益9,042千円（前年同期比26.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税等合計9,212千円、非支配株主に帰属する四半期純利益3,054千円により親会社株主に帰属する四半期純損失3,225千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,472千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (ITツール事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は575,949千円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は59,251千円（前年同期比16.1%増）となりました。

#### (ITサービス事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は380,626千円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は46,104千円（前年同期比65.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ142,491千円増加し、4,494,641千円となりました。これは主に、現金及び預金が461,315千円減少した一方、受取手形及び売掛金が105,356千円、営業投資有価証券が102,477千円、前払費用が257,609千円、長期前払費用が130,079千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計の額は、前連結会計年度末に比べ132,026千円増加し、3,108,912千円となりました。これは主に、前受金が230,107千円増加した一方、買掛金が53,086千円、長期前受金が18,394千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ10,464千円増加し、1,385,729千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失3,225千円を計上した一方、自己株式の処分による自己株式処分差益等により資本剰余金が6,181千円増加し、自己株式が3,800千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月15日付公表「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,403,999	942,683
受取手形及び売掛金	343,837	449,193
営業投資有価証券	30,000	132,477
原材料及び貯蔵品	29,610	22,845
短期貸付金	50,000	50,000
前払費用	720,691	978,300
その他	7,096	9,116
貸倒引当金	△905	△865
流動資産合計	2,584,328	2,583,752
固定資産		
有形固定資産	21,119	20,450
無形固定資産		
のれん	246,029	246,295
その他	13,393	11,989
無形固定資産合計	259,422	258,285
投資その他の資産		
長期前払費用	1,181,699	1,311,778
その他	305,581	320,374
投資その他の資産合計	1,487,280	1,632,153
固定資産合計	1,767,822	1,910,889
資産合計	4,352,150	4,494,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	143,571	90,484
1年内返済予定の長期借入金	19,500	19,500
前受金	929,038	1,159,145
未払法人税等	11,954	12,468
引当金	6,090	10,060
その他	210,011	181,473
流動負債合計	1,320,165	1,473,132
固定負債		
長期借入金	48,000	43,500
退職給付に係る負債	34,849	36,222
資産除去債務	20,397	20,422
長期前受金	1,517,772	1,499,377
その他	35,699	36,258
固定負債合計	1,656,719	1,635,780
負債合計	2,976,885	3,108,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	796,631	796,756
資本剰余金	594,840	601,021
利益剰余金	39,206	35,981
自己株式	△110,218	△106,418
株主資本合計	1,320,459	1,327,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,350	7,572
繰延ヘッジ損益	1,752	2,919
その他の包括利益累計額合計	8,103	10,491
新株予約権	10,025	10,146
非支配株主持分	36,676	37,750
純資産合計	1,375,265	1,385,729
負債純資産合計	4,352,150	4,494,641

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	742,602	956,575
売上原価	474,567	658,881
売上総利益	268,034	297,694
販売費及び一般管理費	264,370	284,926
営業利益	3,663	12,767
営業外収益		
受取利息	-	375
為替差益	8,829	3,018
その他	210	76
営業外収益合計	9,040	3,470
営業外費用		
支払利息	79	184
自己株式取得費用	245	-
持分法による投資損失	-	7,010
営業外費用合計	325	7,195
経常利益	12,377	9,042
特別利益		
新株予約権戻入益	138	-
特別利益合計	138	-
税金等調整前四半期純利益	12,515	9,042
法人税、住民税及び事業税	7,465	9,260
法人税等調整額	1,320	△47
法人税等合計	8,785	9,212
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,730	△170
非支配株主に帰属する四半期純利益	257	3,054
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,472	△3,225

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,730	△170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,677	1,208
繰延ヘッジ損益	804	1,166
その他の包括利益合計	2,481	2,374
四半期包括利益	6,212	2,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,947	△836
非支配株主に係る四半期包括利益	265	3,041

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法適用の範囲の変更の注記)

当第1四半期連結累計期間において、2024年4月15日付で株式会社クラウドマイナーージャパンの株式を取得し、同社を持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,415千円	2,749千円
のれんの償却額	5,906	7,660

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益計算 書計上額(注2)
	ITツール事業	ITサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	425,323	317,278	742,602	-	742,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	11,774	11,858	△11,858	-
計	425,407	329,053	754,460	△11,858	742,602
セグメント利益	51,036	27,920	78,956	△75,292	3,663

(注) 1. セグメント利益の調整額△75,292千円には、のれんの償却額△4,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,029千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ITツール 事業	ITサービス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	575,949	380,626	956,575	-	956,575	-	956,575
セグメント間の 内部売上高又は振替高	84	6,952	7,036	900	7,936	△7,936	-
計	576,033	387,579	963,612	900	964,512	△7,936	956,575
セグメント利益又は セグメント損失(△)	59,251	46,104	105,355	△39	105,316	△92,548	12,767

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない投資事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△92,548千円には、のれんの償却額△4,262千円、一時的に発生する子会社取得関連費用△16,802千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,483千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。